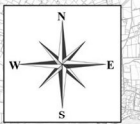


信濃川水系 奈良井川 多段階の浸水想定図 (現況河道W=1/50)

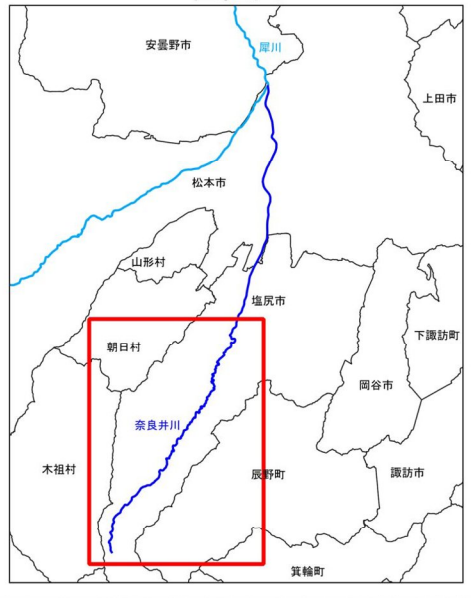


朝日村

1. 説明文
- (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、現況（令和3年度末）の奈良井川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））の降雨に伴う洪水により奈良井川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出し、想定される浸水範囲と浸水深を示したものです。
 - (2) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定図内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、実績降雨波形を用いているため、各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
2. 基本事項等
- (1) 公表年月日 令和8年3月27日
 - (2) 作成主体及び対象となる河川 長野県松本建設事務所：信濃川水系奈良井川
 - (3) 実施区間 長野県松本建設事務所
・奈良井川
左岸：塩尻市奈良井2741番の6地先（奈良井ダム）から直轄管理区間境（島橋）まで
右岸：塩尻市奈良井2741番の6地先（奈良井ダム）から直轄管理区間境（島橋）まで
 - (4) 算出の前提となる降雨
年超過確率1/50（奈良井川流域の48時間の総雨量214mm）
 - (5) 河道条件：現況（令和3年度末）
 - (6) 関係市町村 塩尻市
 - (7) その他計算条件等
① 氾濫計算は、対象区間をおよそ5m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザ測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が反映できない場合があります。
② 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水深を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。
③ 以下の年超過確率1/50の降雨に伴う洪水による浸水状況のシミュレーション結果を重ね合わせて表示しています。
（奈良井川、額川、小菅部川）

※この浸水想定図は流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

位置図



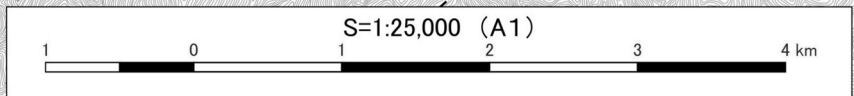
奈良井川

塩尻市

木祖村

辰野町

凡例	
浸水した場合に想定される水深(ランク別)	
	0.5m未満の区域
	0.5~3.0m未満の区域
	3.0~5.0m未満の区域
	5.0~10.0m未満の区域
	10.0~20.0m未満の区域
	20.0m以上の区域
	市町村境界
	河川等範囲
	実施区間



この地図は、塩尻市長の承認を得て、塩尻市作成の塩尻市基本図1/2,500を使用したものである。(承認番号 7建第738号)
この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R7JHs 530)
背景図は基礎地図情報を拡大して使用しているため、位置精度は基礎図に準じます。